

2023年12月8日
日本商工会議所
東京商工会議所

2025年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程に関する 考え方について

[採用選考ルールの必要性]

- 2023年度卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する調査結果では、学生・大学・企業の多くが採用活動において一定のルールが必要であると回答する一方、学生が採用面接を受けた時期について3月以前がピークと回答した累積割合が40.7%と過去最多を記録するなど、実態としては、採用活動の早期化、ルールの形骸化はさらに進んでいる。
- 採用選考ルールは、選考活動の早期化・長期化の抑止力となり、学生の学修時間の確保に一定の意義があると考えますが、こうした現状をしっかりと受け止め、ルールの在り方・必要性について、選考採用・就職に関する環境や学生・大学・企業の意識の変化をとらえつつ、再度検討を行うべき。

[インターンシップ]

- 2023年度より、一定の条件を満たしたインターンシップにおいて取得した学生情報を就職・採用活動に活用できる制度が開始され、2024年度からは、専門活用型インターンシップを通じて専門性を判断された学生は6月の選考開始時期にとらわれない新たな形式のインターンシップが始まる。両インターンシップの定義や実施要件について、中小企業の理解・活用が進むよう丁寧な周知を実施いただきたい。
- 両インターンシップの活用状況等のフォローアップ調査を実施し、制度が適切に運用されているか確認するとともに、学生側と中小企業を含む企業側の双方にメリットがある制度にするため、適宜見直しを行うべき。

以上